

防災設備

FEBRUARY 2015



日本防災設備協同組合

URL <http://nichibou.main.jp/>

平成27年新年賀詞交歓会

日本防災設備協同組合

日本防災設備協同組合の平成27年新年賀詞交歓会は、1月22日、文京区湯島「ホテル東京ガーデンパレス」に於いて110名が参加、盛大に開催された。中島専務理事の司会で、磯部副理事長の開会の辞に続き、廣江理事長が年頭の挨拶を述べた。

多数の来賓の中から、代表者に祝辞を戴き、能美防災（株）橋爪会長の乾杯の音頭で祝宴に入った。バンド演奏、ビンゴゲームもあり、歓談のひと時がもたれた。中締めとして古木副理事長の謝辞で盛会のうちに散会した。

建築基準法と消防法に基づく防災について



理事長 廣江 隆一

皆様、新年おめでとうございます。

私は、昨年5月の定例総会において理事長の大任を仰せつかったダンメンの廣江でございます。組合を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

ご列席のご来賓の方々並びに組合員の皆様方におかれましては、益々ご

健勝で新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、私ども日本防災設備協同組合は昨年創立50年を迎えることができました。組合の歴史の歩みは、消防防災の技術的進歩と業界全般の発展の歴史と重なり、お陰さまで今日を迎えることができました。この間、所管官庁、関連諸団体様を始め、メーカー各位にご指導をいただき、交流を深めることができました。

協同組合はご承知のように、現場に携わる業者が共に相互扶助の精神で業界の発展のために力を合わせて行こうと集まっている所があります。その趣旨に沿い、これまでの活動によって数々の業績を残してまいりました。

ところで、今年の干支はヒツジですが、未年のジンクスを聞きましたが、桜の開花は他の干支に比べて11番目と遅いようであります。また、十二支中、一番台風が多く来ると

いう統計がでていそうです。はたして、このような一年になるかはわかりませんが、予測不可能なことが起こるこの頃、どうか穏やかな年になってくれれば良いと、念じます。

少々脱線しましたが、今後、建築物は更に大規模で多様化の道をたどると考えますが、防災業界の責務も増してまいります。私がこれからの課題として進めているものに、建築基準法に基づく防災の分野があります。業務を遂行してまいりますと、消防法と建築基準法との絡みの部分が出てまいります。いわゆる、防排煙設備であります。

本日は、この分野の専門である、メーカー各位のご参加をいただいております。建築基準法に定めるダンパーや防排煙関連について、技術的にも法規面でも避けて通れない課題であります。

当組合においては、この分野においても、現場に即した観点からの教科書を発行し、講習会を開いて人材の育成に力を入れているところでございます。2冊目になるテキストも今年発行する運びとなっております。

活動の一端をご紹介いたしました。今後、ご来賓の皆様方のご指導を仰ぎながら、組合活動を推進していければ、幸いに存じます。

最後に、ご来賓の方々、組合員の皆様の益々のご発展とご健康をお祈りし、挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

CONTENTS

平成27年新年賀詞交歓会	2
祝 辞	3
新年賀詞交歓会スナップ	6
平成27年度東京消防出初式	7
教育事業	8
組合員募集中	9

表紙写真／東京ビックサイト「東京出初式」
撮 影 者／松原 宗一

発 行／日本防災設備協同組合
編集人／「防災設備」編集委員会
東京都文京区本郷1丁目15番6号
TEL. 03-3813-9650 (代)
FAX. 03-3813-9460
E-mail (事務)nichiboukyou1@io.ocn.ne.jp
(営業)nichiboukyou2@dune.ocn.ne.jp

祝 辞



東京消防庁本郷消防署
予防課長 加藤 彰



只今、ご紹介をいただきました、本郷消防署の予防課長の加藤です。

皆様、明けましておめでとうございます。日本防災設備協同組合の皆様には、平素より消防行政につきまして、深いご理解とご協力を賜りまことにありがとうございます。

昨年の災害を振りかえりますと大きな自然災害が続きました。広島での土砂災害、御嶽山の火山災害などがありました。火山性微動も富士山、桜島などで続いています。また東海・東南海・南海地震そして首都直下型の地震の発生も危惧されています。いたずらに恐怖心をいただくことはよくありませんが、しっかりと備えるという気持ちを持つことは大切なことだと思えます。

次に東京消防庁管内での火災の状況は、火災件数が4,801件で、焼損床面積は23,379平方メートルでした。どちらも、わずかに減少の傾向にあります。火災による死者は、94

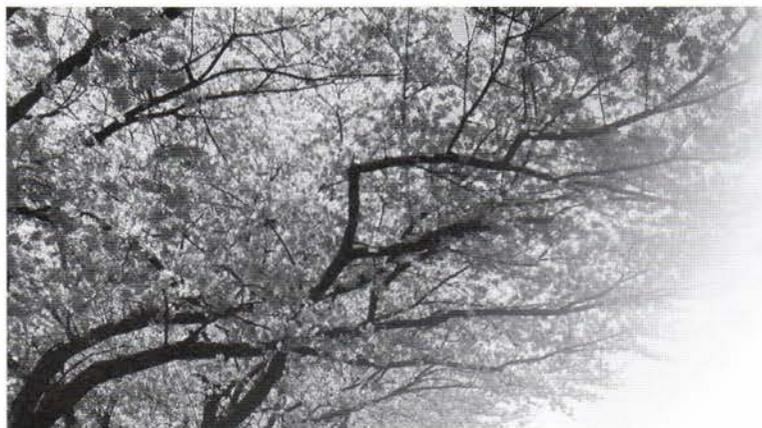
人で前年に比べ7人増加しています。

主な出火原因は、放火・放火の疑い、たばこ、ガステーブルの順になっています。地域住民が中心となって町を守ることが大切なことのひとつだといえます

さて、貴組合は、東京を中心として関東近県と大阪、岡山にも広がり約125社が加入されています。組合の設立は東京オリンピック前年の昭和38年で50年を超える歴史を持つ優良な組合です。

今後とも、消防署と貴組合との情報交換を活発に行い、より安心安全のための情報を発信できるようにしていきたいと思えます。

防災設備の業界のなかで、さらに貴組合が発展していくことを祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。



新年のご挨拶

一般社団法人全国消防機器協会
会長 北爪 敬治

平成27年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本防災設備協同組合の皆様には、平素より当機器協会の業務運営に格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

新しい年を迎え、当機器協会会員一同、心を新たにして、信頼される消防機器等の開発・改良と普及に取り組み、社会の安心・安全に寄与するとともに、適切な維持・管理の推進に努めてまいります。

昨年には、当機器協会の11番目の正会員として、一般社団法人日本消防服装・装備協会に加盟し、消防機器に関する関係団体をほぼ網羅することが出来、なお一層消防機器業界の充実に努めてまいりたいと考えております。

一昨年に発生しました診療所火災を契機に病院、診療所等に対する消防用設備等の設置が強化されるなど、災害時要援護者が利用する施設の防災対策が強化されています。我々消防機器業界におきましても、これらの施設に対応した機器の開発、改良やその適正な設置・維持管理に努めて行く必要があります。

更に、既に建物等に設置されている消防用設備等は、日頃から適正に維持管理すると共に、定期的に点検を実施し、適正な性能機能を維持することが、火災等の災害による被害

を最小限にすることが出来るものと考えております。

このためには、消防用設備等について信頼性が高く確かな技術による点検、整備が必要であり、我々消防機器業界としても、これらの要望、ニーズに的確に対処して行くことが重要と考えています。

機器協会会員一同は、従前にも増して複雑多様化する災害に対応すべく、その役割の遂行に努め、社会に貢献して行くことが責務と認識しております。

本年も私ども業界に対しまして、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

結びになりますが、本日、ご列席の皆様のご健勝とご活躍、また関係団体・企業のますますのご発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



(代読)

一般社団法人全国消防機器協会

常務理事 鈴木 和男 様

祝 辞



東京都中小企業団体中央会
総務課 主幹 鈴木 篤郎



新年、明けましておめでとうございます。
東京都中小企業団体中央会の鈴木と申します。

本日は、日本防災設備協同組合様の新年賀詞交歓会にお招き頂きまして、誠に有り難うございました。

また、常日頃より本会の事業遂行に多大なるご理解とご支援を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、去年の我が国経済を顧みますと前半は緩やかな回復基調にありましたが、消費税引き上げによる駆け込み需要の反動で、後半から個人消費の低迷で景気が失速するとともに、円安による原材料価格の高騰、更には人手不足等も加わり、中小企業は困難な経営を強いられました。また、政府は今年10月に予定していた税率10%への引き上げは、平成29年4月まで先送りされましたが、外形標準課税の中小企業への適用拡大を検討しています。これは人件費に課税されるため赤字の中小企業経営に甚大な影響を及ぼすことから、本会では去年の中小企業全国大会を通じて断固反対しており、今後も継続して反対を訴えていく考えです。

本会は、組合支援機関として本年も引き続き「会員の皆様から喜ばれるサービスを提供するために！」の行動理念のもと、様々な事

業を実施して参ります。

一例ですが、「グループ戦略策定・展開支援事業」では、組合やグループで傘下の企業の販路開拓や人材育成等の経営改善を図る計画づくりやその計画の実現化を支援しています。

その他、昨年より新たに東京都の補助金事業として「団体向けBCP策定支援事業」が創設され、組合のBCP策定研修会の開催やBCPの策定マニュアルの作成費費用を助成する事業であります。組合員企業の危機管理体制の強化に役立ちますので是非ともこちらもご活用ください。

本会としても、組合活性化のために、精一杯皆様のご支援をさせていただき所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、今後、組合が更なる団結を強固にさせていただき、更なるご発展を心からお祈り申し上げます。お祝いの挨拶とさせていただきます。



新年賀詞交歓会スナップ



開会の辞 磯部副理事長



乾杯 能美防災株式会社 橋爪 会長



ご来賓各位



バンド演奏(青年部参加)



司会 中島専務理事



閉会の辞 古木副理事長

平成27年東京消防出初式

火災標語“身を守り 地域と協力 たすけあい”



出初式の起源は、今から約350年ほど前の江戸時代にさかのぼる。

当時（明暦3年・1657年）に発生した大火の後、時の老中稲葉伊予守が定火消総勢4隊を率いて、1月4日上野東照宮の前で「出初」を行い氣勢を上げ江戸市民を励ましたことに始まる伝えられる。

今年も、東京消防出初式（1月6日東京ビックサイト）では、消火・救助・救急演技、消防機械部隊分列行進、江戸消防記念会による伝統の木遣り行進、はしごのり等々が披露された。



教 育 事 業

当組合では、防災関連事業従事者の技術者養成、スキルアップのために関係各位のご協力を得て教育事業を実施している。

消防法関連の消防設備士乙第6類について平成26年9月26日に、消防設備士甲第3類について12月9日に受験準備講習会を実施した。建築基準法関連の防排煙設備について当組

合・防排煙設備検討委員会発行「防排煙設備実務必携Ⅰ」をテキストに用い平成26年12月3日に実施した。

また、当組合青年部主催で平成26年11月14～15日ニッタン電子（株）伊丹工場の見学会を実施した。



第6類 講習会



防排煙 講習会



青年部 研修旅行

組 合 員 募 集 中

1. 名 称

日本防災設備協同組合

2. 趣 旨

当組合は中小企業協同組合法に基づき、国土交通省(旧建設省)の認可を得た事業協同組合です。組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な協同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的としています。(組合定款第1条)

3. 地 区

現在加入組合員の地区は、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・新潟県・静岡県・愛知県・岐阜県・岡山県・宮城県・大阪府及び北海道の区域です。(組合定款第3条)

4. 事 業

消防施設工事用及び点検設備用資材の共同購買を主体として、共同受注、研究・開発、教育・講習、情報提供、親睦・レクリエーション・福利厚生等の事業を行っている。(組合定款第7条)

5. 組合員加入資格(組合定款第8条)

消防施設工事又は点検設備を行う小規模の事業者であること。

6. 加入申請等

- (1) 提出書類 加入申込書 会社経歴書 登記簿謄本
- (2) 費用 出資金(1口、1万円)3口以上・加入手数料1万円
- (3) 申請に必要な書類が提出されると、理事会で承認、不承認を決定し、申請者に通知します。なお、組合員になった場合は、賦課金(組合費)として毎月6,000円を3ヶ月ごとに納入して頂くことになります。

7. 募集期間

随時、事務局で受け付けています。申請書及び「組合員のしおり」を希望する方は、事務局へご連絡ください。

8. 沿 革

- ・所在地 東京都文京区本郷一丁目15番6号 MKビル2階
- 事務局 電話(03)3813-9650 FAX(03)3813-9460
E-mail nichiboukyoul@io.ocn.ne.jp URL <http://nichibou.main.jp/>
- ・設立年月日 昭和38年10月31日
- ・認可年月日 昭和39年1月22日、建設大臣
- ・組織(現在) 関東を中心とした17都道府県・組合員130社 事務局 専従職員5人

◎消防設備の保守点検業務、消防設備工事における法律上の損害賠償をカバー
「団体賠償責任補償制度」

(請負業者賠償責任保険＋生産物賠償責任保険)

◎役員・従業員のおケガを24時間幅広く補償

「団体傷害保険」

(普通傷害保険)

万が一に
備えて保険に
入ろう!



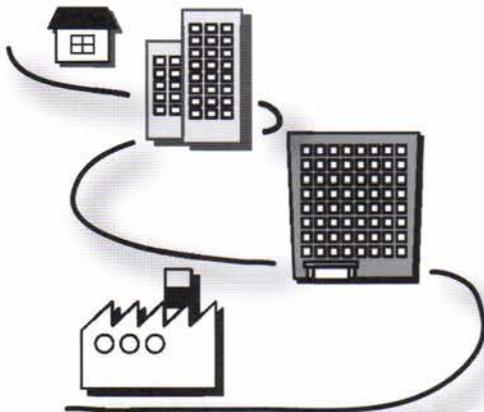
上記に関するお問い合わせは、組合事務局または下記の取扱い代理店へご連絡ください。

[取扱代理店] 株式会社 サンリビング
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6
 第10中央ビル三洋化成工業(株)内
 TEL03-3241-1761 / FAX 03-3241-1930

[引受保険会社] 三井住友海上火災保険株式会社
 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1
 TEL 03-3259-3990 / FAX 03-3291-4684



安全の未来を **〈形〉** にする能美防災



都市生活と同じように、休むことなく稼働し続ける防災システム。私たちの生活を守るこれらのシステムは、24時間動き続けるいわば都市の心臓部。いつも安心で快適な毎日の生活のためのネットワーク・システムを実現します。

能美防災株式会社 [http:// www.nohmi.co.jp/](http://www.nohmi.co.jp/)

本 社 / 〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3
 TEL.(03) 3265-0211 FAX.(03) 3263-4948



連結送水管 耐圧性能点検やります

平成19年7月現在で既に3000件を超える点検実績

業界随一の実績と品質を誇るプロサスだからこそ出来る

トータルサービス

事前改修に対応

あらかじめ不良のある事が予想される物件では、不良箇所等の事前改修を行ってから点検を実施することで、不慮の事故を未然に防止する事が出来ます。

有資格者による点検

経験豊富な消防設備士、消防設備点検資格者が実施する安心な点検です。

ホースの耐圧点検・交換も実施

弊社はメーカーとの直接取引による豊富な販売実績がありますので、非常にお得な価格でのご提供が可能となります。

A-2級水槽付ポンプ車を使用

実際の消防ポンプ車と同じA-2級水槽付消防ポンプを装備した検査測定車を使用し実施する誰もが納得できる点検です。

改修工事の見積・施工を速やかに実施

不良が見つかった場合でも、他業者を捜すことなくそのまま弊社にお頼みいただけます。

もしもの時も安心

点検中の過失による事故等に対しましては最高限度額2億円の損害賠償保険が適用されますので安心してご依頼ください。

《トータルサービスの内容》

基本サービス

耐圧性能試験 / 点検票の作成 / 不良時の原因調査

オプションサービス

事前調査 / 空気圧予備試験(乾式のみ) / 放水試験 / 不良箇所の改修、修理 / ホースの耐圧性能試験 / 点検現場写真

《お問い合わせはこちら》



株式会社 **プロサス** 担当: 桜井・高木

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町519番地 早稲田松浦ビル

Tel 03-5272-9991

Fax 03-5272-9797

✉ setsubi@prosus.co.jp

🌐 <http://www.prosus.co.jp>

あれも、これも、みんなホーチキです。

ホーチキは自動火災報知システム、消火システム、トンネル防災システム、ネットワークシステム、出入管理システムなどの研究/開発・製造/販売・設計/コンサルティング/エンジニアリング・施工及びメンテナンスを行う会社です。



火災報知システム



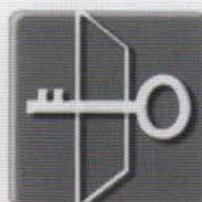
消火システム



トンネル防災システム



ネットワークシステム



出入管理システム

火災報知・消火・トンネル防災・ネットワーク・出入管理など各種システムの製造、販売、施工、保守

ホーチキ株式会社

本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43 TEL03(3444)4111 FAX03(3444)4118
<http://www.hochiki.co.jp>

修理・調整・交換工事

排煙口、排煙窓、防火ダンパー

設備点検 特殊建築物調査

厨房ダクト・フード・グリスフィルター清掃

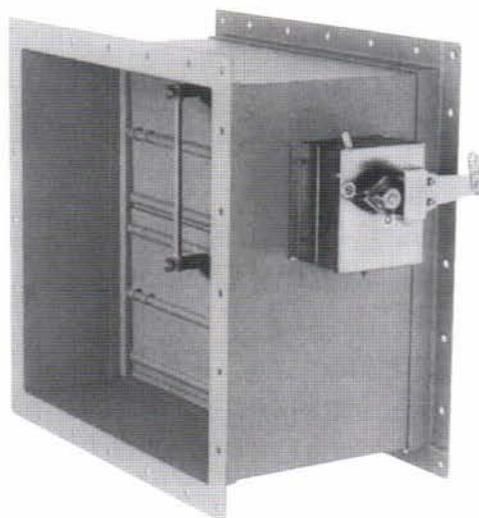


DAN MEN

有限会社 ダンメン

東京都文京区後楽2-2-10

☎ 03-5689-3551



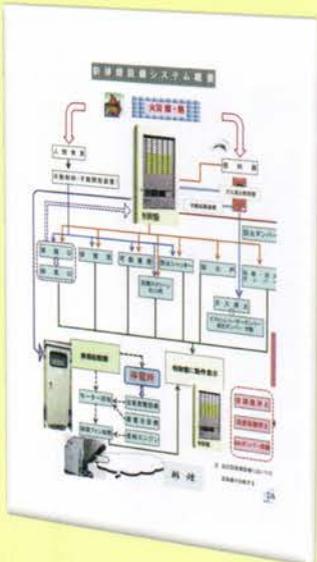
待望の発刊!

好評発売中!!

防排煙設備 実務要領 I

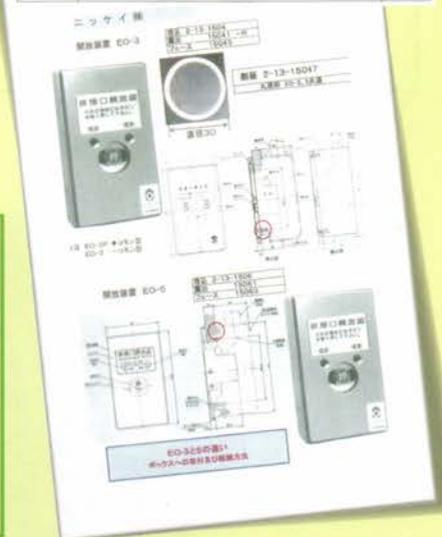
現場に即した観点から構成した、現場の即戦力となる実務書完成

今までにない わかりやすさで 豊富なカラー写真 図解 表を用い
防災設備の中でも 建築基準法に基づく 防排煙設備の全体像を明かし
シリーズ I では 特に防火ダンパー・排煙関連の詳細を解説しています



3-2 防煙・防火ダンパーの構造、作動特性
防煙・防火ダンパー(SFD)の基本構造は、作動器以外防火ダンパー(FD)と同じである。大きく異なることは、連動制御盤から連動制御が行え、作動表示され時監視ができることである。SFD作動器の定格電圧は、現在においてDC24Vが主流である。過去にはDC48V仕様もあったが、現行の自動火災報知設備がDC24Vであり、連動制御盤も同一仕様であることから統一されている。作動時の電圧定格及び作動トルク並びに復帰時の電圧定格及び復帰トルクについては、製造者により違いがある。ダンパーがシステムで複数台設置されている場合、同時作動或いは順送りなどで配線されるのでSFD作動器の電気的特性を把握する必要がある。

(1) フレノイ作動、手動復帰式
丸型150φでカチオン電着塗装を施したモデル。この器具の軸が10φである。小径のダンパーであるためこの径になっているが、一般的には12φが用いられ12.7φのものもある。作動器交換時には注意点である。フレノイ作動の場合は、作動信号を受けてはば解時に作動する。この面では防煙・防火ダンパーの特性上好ましい型式である。



これまで理論等に重点をおいた解説書はでていますが、本書のような実際の部材に基づくもの或いは設置現場からの観点での解説書は、類を見ません。部材によっては、細部まで説明し、又温度ヒューズや手動開放装置並びに保護板については可能な限り網羅して、資料として活用できるよう配慮しています。

編集：日本防災設備協同組合 防排煙設備検討委員会
発行：日本防災設備協同組合
TEL 03-3813-9650 <http://nichibou.main.jp>
定価：4,000円+税

取扱い